



#### 注意事項

- ・入射 X 線のエネルギーは原則として  $1.0\text{\AA}$  ( $12.39\text{KeV}$ ) です。
- ・入射 X 線のビームサイズは  $0.1\text{mm}\times 0.1\text{mm}$  です。
- ・軸の走査はステップスキャン方式で、一点当たりの積算時間は原則として 1 秒とします。
- ・測定時間は軸駆動の時間を考慮して「測定点数 × 積算時間 1 秒 × 1.5」を目安にしてください。
- ・測定は原則として室温・大気下で行います。
- ・試料アライメントはビームラインの標準的な方法で実施します。
- ・受光系にはダブルスリットもしくはソーラーズリット（分解能  $0.41^\circ$ ）を選択することができます。ダブルスリットを選択される場合はスリット開口サイズを指定してください。
- ・単結晶薄膜のような回折ピークを探す必要のある試料は原則として対象としていません。
- ・下記の 4 種類のスキャンのみ対応します。

#### ①反射率測定 th/tth スキャン

例  $th=0\sim 3^\circ$ ,  $tth=0\sim 6^\circ$ ,  $\Delta th=0.01^\circ$ , 積算=1sec, 受光スリット 1&2:W=0.2×H0.5mm

#### ②面外測定（入射角固定） tth スキャン, 最大 $150^\circ$ まで

例  $th=0.16^\circ$

$tth=10\sim 40^\circ$ ,  $\Delta t th=0.1^\circ$ , 積算=1sec, ソーラーズリットを使用

#### ③面外測定 ( $\theta/2\theta$ スキャン) th/tth スキャン

例  $th=10\sim 40^\circ$ ,  $tth=20\sim 80^\circ$ ,  $\Delta th=0.1^\circ$ , 積算=1sec, 受光スリット 1&2:W=0.2×H0.5mm

#### ④面内測定（入射角・出射角固定） tthz スキャン, 最大 $40^\circ$ まで

例  $th=0.16^\circ$ ,  $tth=0.32^\circ$

$tthz=10\sim 40^\circ$ ,  $\Delta t thz=0.1^\circ$ , 積算=1sec, ソーラーズリットを使用